

【ファーストステップFX】

Part1 一流トレーダーへの 道を進む為に

第2章

自分の生活環境を考える

株式会社チャートマスター

❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリック出来ます。出来ない場合は最新の AdobeReader をダウンロードして下さい。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものである為、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部を如何なる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

著作権等違反の行為を行なった時、その他不法行為に該当する行為を行なった時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行なう等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行なう場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行なう権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

このレポートを利用する事により生じた如何なる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

目次

※目次の見出しをクリックすると、その見出しのページに移動します。

❖ 第2章：(1) —— 何故生活環境を考える必要があるのか？ ——	4
❖ 第2章：(2) —— トレードと健康について ——	5
❖ 第2章：(3) —— トレードと人間関係について ——	8
❖ 第2章：(4) —— トレードと経験について ——	11
❖ 第2章：(5) —— トレードと費やす時間について ——	13
❖ 第2章：(6) —— 何故生活環境を考える必要があるのか？ ——	15
❖ 第2章：(7) —— トレードと情報について ——	17
❖ 第2章：(8) —— トレードと無駄について ——エラー! ブックマークが定義されていません。	
❖ 第2章：(9) ☆★☆☆ 第2章のまとめ ☆★☆☆	19

❖ 第2章：(1) —— 何故生活環境を考える必要があるのか？ ——

ある時、あなたは、にわとりと共に生活をする事になりました。

そもそも、にわとりは早朝に目覚め、卵を産む生き物です。ですから、早朝に起きなければいけません。ところが実は、あなたは朝早く起きるのが苦手な人間でした。とてもとても早朝に起きる事なんて出来ません。

けれど、4時や5時になれば、コケコッコと一斉に鳴く訳です。もしニワトリの卵を出荷するような仕事を選んでいたら、その時間に起きていなければ致命的です。

どのみち叫ばれるのですから、おちおち寝ている事は出来ません。

寝ぼけ眼で強引に起床し、卵を出荷する為の仕事をしてします。それを生活の糧としているのですから、そうせざるを得ません。自分のタイムサ行くルに合っていない仕事ですが、生活の為ですから、頑張って続けます。

さあ、あなたはこんな生活を続ける事が出来るでしょうか？

自分が生きている生活環境とトレードには、切っても切れない繋がりがあります。

☆トレードをしていると、どうしても憂鬱になる。

☆家族や友人等との会話が少なくなる。

☆毎日が寝不足になる。

などなど…。

このように、**自分を取り巻く環境が、トレードに与える影響は非常に大きいもの**です。そして同時に、トレードが自分を取り巻く環境に多大な被害をもたらす場合もあります。

今回の章では、トレードと、その結果として影響を受けてしまうモノについて、詳しく説明して行こうと思います。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(2) —— トレードと健康について ——

トレードには、非常に強い中毒性があります。と言うのも、トレードを繰り返す事で、お金が増えたり減ったりを繰り返して行きます。

これは刺激のない生活を送っている人にとっては、非常に強い刺激となって行く訳です。その刺激を求めて、よりトレードにのめり込んでしまう…そういう中毒性があります。タバコで言うニコチン、お酒で言うアルコールと同じですね。

ところが、それを繰り返して行くと、自分の身体において徐々にある影響が出て来ます。

あなたは、次のような経験はありませんでしょうか？

「どうも頭が痛いなあ。でも、トレードしないと儲からないしなあ…」

「この所、首が痛いんだよね、うーん、困ったなあ」

誰しものがこういった事を感じる瞬間があるのではないかと思います。

実際にトレードにのめり込んで行くと、当たり前のようにディスプレイを見つめ続けてしまいます。しかも、それは朝起きてから夜寝るまでの間ずっとです。

そんな状態にまでなってしまう原因として、これから自分が稼げるであろうタイミングを逃したくないが故に、相場の変化に対応する為、所謂、「相場に張る」状態を続けてしまいます。



ところが、それだけだったらまだ良いのですが、その行為自体が、人間の体に悪影響を及ぼして行ってしまいます。先ず運動をしない事によって、身体全体がおかしくなって行きます。どうも身体が上手く動かない、ぎこちないと言った影響です。

そして、ディスプレイを眺め続ける事によって、目の疲れ、それが行き過ぎると、頭痛に繋がって行きます。子供がゲームに夢中になり過ぎて、瞬きをあまりしない状態になってしまう…と言うのが、この場面でも起きて行くのです。

更に椅子に座り、ないしはそれに準ずる方法でPCを操作しているので、首、肩、腰等に、甚大な被害が出てしまいます。あまり動かさない事による筋肉の硬直化が起き、痛みとなって行きます。

サラリーマンのデスクワークにありがちな症状が、トレーダーの中にも現れて来ると言う訳です。更に更に、1分1秒の時間も惜しい…と考えて行きます。

そうすると、一人暮らしをしている人達や、そうでない人達でも、栄養を確保する場面である食事を抜く…ないしは簡単なモノだけを食べる…と言った生活に変わって行ってしまいがちです。



どうでしょうか？このような影響の他にも、色々な変化が身体に出て来るかも知れません。

このような状況の末路として、お金持ちになる所か、トレードすら出来ない状況になってしまいます。そう、身体を壊して入院です。

お金持ちになりたいが為、自分の健康を害しても良いのでしょうか？お金持ちになったとしても、不健康な身体のままでは、それを謳歌する事が出来ません。

トレードとは、自分の身体を壊してまでやるものではありません。
それを肝に銘じておく必要があります。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(3) —— トレードと人間関係について ——

「最近あいつ、付き合い悪くなったよな…」

そう裏では囁かれているかも知れません。でもトレードをしている本人は違う意見を持っているかも知れません。

「何だ、あいつら、トレードがどんなに凄いのなのか知らないから言えるんだ！」

確かにトレードは、人間が生み出して来た富の創出方法の中では、高次元に位置するモノだと考えられます。ただ、稼ぐためには最良のものだとしても、トレードを行ないすぎる事で、あなたの人間関係を破壊してしまう可能性が出て来ます。

例えば、ある平日の夜に、「たまにはみんなで食事に行きましょうよ」という家族からの提案があったとします。

ところが、その提案に自分は、うーん…と思い悩みます。

何と言っても、今、自分はポジションを持っている最中。しかも、この日の夜には重要な経済指標、アメリカの雇用統計がある日です。この状態で食事に行った時にどうなるか思いを巡らせています。

「ポジションを持ったまま食事に行ったとして、相場がおかしな動きをして、大きな損を出してしまったらどうしよう？」

とか、

「これ程、大きな経済指標の時にトレードすれば、今までの損がチャラに出来るかも知れない！」

とか…

色々なこれから「起こりそうな事」に思いを巡らせます。そしてこう結論付ける訳です。

「どっちにしろ、食事に行ったら危険だ」 ——と。

結局、家族と食事に行くのを止め、一人、家でチャートをチェックする事にしました。別に自分の為の食事を作って置いて貰える訳ではありません。自ら食事に行く事を断ったのですから、自分で何とかせねばなりません。

そう言えば、カップラーメンがあったのを思い出し、台所で一人お湯を沸かします。

チャートをチェックしなければいけないという理由から、家族との貴重なコミュニケーションを取りませんでした。これが家族でなかったとしても、例えば、友人関係だったり、恋人関係だったら、その関係にひびが入ってもおかしくない状態になるかも知れません。

ひびだけだったらまだ良いですが、これが元で取り返しの付かない事になるかも…

今のままの状態のトレードを続ける事が、果たして良い事なのかどうか、考える必要がありますよね。逆に、家族、友人、恋人等に邪魔をされる場合もあります。

例えば、自分はこうなりたいんだ！、と声を大きく叫んだとします。
ところが、連中はこう言います。

「お前には無理だ」と。これはよくある話で、やってもいけないのに初めから無理だと決め付けてしまうのです。そしてこうも言います。

「FX？ 危ないから止めとけ！」

何故、FXをやった事もない人間がFXは危険と言えるのでしょうか？
しかし、これらの言葉だけで自分のモチベーションがガタ落ちするのは目に見えています。

腐ったミカンの話があります。袋に数個のミカンが入っていました。実はそのミカン、全てが腐っていました。その中に、一つ腐っていない、健全なみかんを入れたとします。
この状態で放っておくと、どうなるのでしょうか？

【ファーストステップFX】 Part1 第2章 自分の生活環境を考える

そうです、健全だったみかんが、自然と腐ってしまうのです。それは、周りの環境に左右されてしまい、腐る事が当たり前…となってしまいますからです。

もし仮に目標を高く掲げたとしても、周りが一生懸命、止めに入ります。変わっちゃ駄目だよ！今のままでいてくれよ…と、あの手この手を使って説得して来るのです。

そうする事で、やる気だった自分のモチベーションがなくなり、結局、元の木阿弥…今までの自分に戻ってしまいます。彼らにとっては、一人だけが変化して貰っては困るんです。だから、彼らのポジションにまで引き戻そうとするのです。それが、貧乏人のポジションだとも気付かずに。

ですから、自分の足を引っ張る連中とは離れる必要があります。彼らがあなたにとってのハードルとなりえます。



環境が人を作ると言うように、足を引っ張る連中と付き合っても、自分が大成する事は難しいでしょう。

成功したいのならば、成功しそうな環境に身を置くこと。

トレードで成功したいのであれば、トレードで自分よりも先に成功している人、仲間が近くにいる環境を作る

これが、トレードで稼ぐ上で大切な秘訣の一つと言う事が出来るでしょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(4) —— トレードと経験について ——

人は何かを学ぶ時、右も左も分からない状態から、色々な雑誌やメディアから情報を集め、知識を身に付けて来ます。

例えば、投資の世界だとしたら、こういうテクニカル分析がある、こういうツールがある…等々、投資の世界について、どんどんと詳しくなって行きます。

ところが、**実はここに大きな落とし穴**があります。

例えば、トレンドラインを割って来たらトレードしよう…といったトレードルールを決めます。本に書いてあったのは、とにかくひたすらトレンドラインを引いてみる事。ですので、その通りにどんどんとトレンドラインを引いて行きます。

すると、気付くとチャート上には沢山のトレンドラインが…
トレンドラインはその名の通りトレンドを示すラインです。

ですから、そのラインが近くにあると言う事は、例えば、ラインが下にあるので売りの取引をしない等、ラインがある方向に向かってトレードをしてはいけなないと考えられます。

ラインにぶつかって跳ね返る時にトレードをするか、ラインを抜けた時にトレードするか…というトレードルールが考えられるからです。

ところが、チャート上には沢山のトレンドラインが…
そうです、これではトレードチャンスがない！のです。

トレンドラインを抜けたとしても、また次のトレンドラインがある。そのトレンドラインを抜けたとしても、またまた次のトレンドラインが…

そうなのです、数多くのラインがあるせいで、いつまで経ってもトレードが出来なくなるのです。その結果、自分の時間と精神が、徐々に擦り減って行ってしまうのです。

これがまだトレンドラインだけでしたらマシな方です。人間とは欲深いもので、一旦、知識を吸収し始めると、どこまでも食欲に吸収しようとしてしまいます。

ですので、もっと、もっとを追求し、更に知識を追い求めます。

そこでは更に移動平均線、ボリンジャーバンド、フィボナッチリトレースメント等、数多くのツールがある事を学んでいく訳です。人は知識を覚えれば覚えるほど、それを全て活用しようと考えます。そうしないと、もったいないですからね。

ですので、どんどんとチャートにテクニカルツールを表示させていきます。それらを組み合わせている自分を見て「あ、なんか自分、プロっぽい感じじゃん！」な～んて思ってしまう時もあるでしょう。

それが**更に混乱を招く原因**だと気付かずに…。

知識や経験は確かに重要です。ところが、それ自体が仇となり、なまじ知識があるだけに、身動きが取れなくなってしまうのです。数を増やせば良いものでもなく、知識を多く知っているから良いものでもありません。

重要なのは、「楽に、儲ける事」

これをいつでも頭に入れておく必要があります。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(5) —— トレードと費やす時間について ——

トレードと時間には切っても切れない関係性があります。

と言うのも、トレードをするという事は、それだけ**自分の貴重な時間を失って行く**と言う事だからです。時間とは、この世の中で一番貴重な存在です。



そんな時間は、一度失ってしまうと元に戻す事が出来ません。
お金は失っても稼げば良いですが、時間はそうはいきません。

例えばトレードをする為に、大好きな音楽を聴くのを止める。

例えばトレードをする為に、楽しみにしている雑誌を読むのを止める。

例えばトレードをする為に、趣味の旅行に行くのを止める。

それもこれも、トレードでお金持ちになる為。でも、本当にそれで良いのでしょうか？
そもそも、トレードをする理由は何だったのでしょうか？

例えば、大好きな音楽をずっと聴いていたいから。

例えば、楽しみにしている雑誌をじっくり読みたいから。

例えば、趣味の旅行に毎月、行きたいから。

その、本当にやりたい事に時間を掛けたい為に、トレードをしている筈なのです。

ならば、その理由を捨ておいて、トレードに没頭するのは筋が通らないと思いませんか？

トレードをすると必ずと言って良い程、時間が取られてしまいます。
しかし、本当にやりたい事が別にあるから、その為にトレードをしている筈です。

ならば、その本当にやりたい事の為に時間を掛けましょう。
トレードの時間は極力減らせるように試行錯誤しましょう。

トレードをするために時間を費やすのではなく、『**いかに楽に儲けられるか**』その考え方が常にベースにある必要があります。トレードはあくまで、夢を叶えるツールでしかありません。手段の為に、自分のやりたい事を止める必要はありません。

それよりも、自分にとって無駄だと思える行動を見直していった方が良いと言えるでしょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(6) —— 何故生活環境を考える必要があるのか? ——

投資をする為に必ず必要なモノがあります。

それは『**お金**』です。

さて、そんなお金ですが、皆さんは投資で使えるお金を、どの程度準備する事が出来るでしょうか? 10万円? 100万円? それとも1000万円?

それぞれ、投資に使える金額があると思います。そんな投資資金ですが、もし投資で1億円を稼ぎたいと考えたとします。そうした時、今の手持ちの資金だけで出来ると思いますか? 例えば10万円を1年で1億円にしたい…と考えたとします。すると、毎月、幾らくらい利益を上げる必要があるのでしょうか?

実は**総資金に対して、毎月80%の資金増が必要**なのです。

それは、果たして今の自分に現実的な目標と言う事が出来るのでしょうか? 80%どころか、まだ利益を上げる所まで行けてないと言うのに。

そうなんです、目標を高く持つ事は大切なのですが、それと現実問題を見比べてみて、本当にそれが可能かどうか、考えてみる必要があります。

これからのトレードの中で、**現在考えるべきポイントは3つ**です。

- ①今の資金量で大丈夫なのか?
- ②今の投資手法で大丈夫なのか?
- ③目標の期間は現実的か?

この3つを考える必要があります。

逆に言えば、この3つを考える事なく、ただ漠然と10万円からスタートして、1年間で1億円稼ぎたい…と考えたとしても厳しいでしょう。

本当にこの金額でスタートして大丈夫だろうか? もうちょっと貯金をするなりして貯めてからスタートした方が良くないか?

【ファーストステップFX】 Part1 第2章 自分の生活環境を考える

または…「どう考えても現在の投資手法じゃあ月利80%は無理だから、まずは10%出せるように頑張ろう」それか…「1年って言うてるけど、今の資金量と自分の技術じゃあ、5年、掛かりそうだな」と言った形で、より現実的な目標として行けるかと思います。

10万円スタートで、投資期間を5年にしたらどうでしょう。そうすると、月利13%稼げれば1億円に到達する事が分かります。

準備できる資金量

実際に行なうトレード手法

目標到達するまでの期間

これらを踏まえた上で、今出来ることは何かを考えておくようにしましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(7) —— トレードと情報について ——

「ええ、この株は必ず上がります！ 今がチャンスですよ！」

少し前まで、いえ、もしかすると現在進行形かも知れませんが、このような情報が飛び交っていたと思います。さて、ここで問題です。

果たしてその情報は、本当に信じられる情報なのでしょうか？ 上手い話には裏があります。大体、何故、儲かりそうな株を人に売ろうとするのでしょうか？

それは簡単です。彼らとその株を推奨しなければいけない理由があるからです。

例えば手数料だったり、例えば自社で購入している同じ株を釣り上げる為だったり…。このように、様々な理由がそこには存在します。

間違っても顧客の為…だなんて思っていないのです。

本当に良い情報は、今のあなたには届く事はありません。今まで届いて来なかった人に、これから届く訳がないのと同じです。ですから、初めからこう考える必要があります。

『この情報は、本当なのか、それとも嘘なのか？なぜ自分にこの情報が伝わったのか？』

初めから信じる事は本当に危険です。

信じる者は救われる…と言っていますが、それは所詮、偽善です。



信じたからと言って救われるものではありません。
残念ながら、それほど綺麗な世の中ではないんです。

だからこそ、自分の耳に入って来る情報には一体、どんな裏があるのか。
言っている事は合っているのか、それとも間違っているのかを、選んでいきましょう。

無駄は他にも色々な所に隠れています。気を付けないと、その無駄に時間を取られてしまい、
本当にやりたい事がやれなくなってしまいますから。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第2章：(9) ☆★☆☆ 第2章のまとめ ☆★☆☆

- ・トレードのし過ぎで自分の健康を害していないか？
- ・トレードばかりを追い過ぎて人間関係が壊れていないか？
- ・トレードの知識ばかりでトレードが出来なくなってしまうか？
- ・トレードのせいで自分が本来、掛けるべき時間を失っていないか？
- ・トレードの先にある目標に対して、資金や手法、期間に無理がないか？
- ・トレードを惑わす情報に右往左往していないか？
- ・夢を叶えようと言うのに、日々無駄な事に没頭していないか？

[▲目次へ戻る▲](#)



Part1 一流トレーダーへの道を進む為に
第2章 自分の生活環境を考える
株式会社チャートマスター